

社長著『町工場の娘』がドラマ化 ゲージ製作の超精密加工を得意とする 多能工集団「ザ・町工場」

ダイヤ精機



ドラマ化された社長の著書

平成29年11月よりNHKド
ラマ10で放送されている「マ
チ工場のオンナ」は、大田区千
鳥に本社を置くダイヤ精機
(03・3758・3351)
の諏訪貴子社長の著書『町工
場の娘』を原作にしている。
先代である父諏訪保雄氏の
急逝を受け、一介の主婦から二
代目社長に就任したというこの町工
場奮闘記には、社長業の孤独感、日
本の多くの中小企業が抱える問題
に対し、同社が取組んできた手法、
考えがいきいきと記されている。

同社は、精密な部品を大量生産



諏訪社長を中心に力を合わせる「ザ・町工場」



同社の主力製品

する際に欠かせないゲージ製作を
主力事業として、各種治工具の製
造などを手がけている。主力製品
の一つである「限界ゲージ」は、仕
上がり寸法の誤差範囲(許容限界
寸法)の上限と下限でつくり、製品
の寸法がこの間にあるかどうかを
検査するゲージである。限界ゲー
ジに必要な寸法の違いは1μ単
位。1μは1000分の1mmであ
り、硬いと認識されている鉄でも
人間の手の温度で変わってしまう
ほど、微妙で精密な加工である。熟
練の職人が、指先の感覚、飛び散る
火花、機械音などから五感を頼り
に仕上げている。超精密加工を得
意とする多能工集団「ザ・町工場」
こそが同社であり、高い技術力の
継承、人材育成システムを構築、実
践しているのが諏訪社長の経営ス
タイルである。

日経WOMANの「ウーマンオ
ブザイヤー2013」で大賞を受
賞した経歴を持つ社長のもと、新
事業立ち上げも視野に入れつつ、
「どうすればよりよい製品をつく
れるか、どうすれば早く顧客に届
けられるか」あらゆる課題に全社
員の知恵を結集し、ザ・町工場の
挑戦は続く。